

2012年1月1日～2021年12月31日の間に 当科において急性喉頭蓋炎 の治療を受けられた方及びご家族の方へ

「当院における急性喉頭蓋炎の現況」へのご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者 川崎医科大学耳鼻咽喉・頭頸部外科学 講師 宇野雅子
研究分担者 川崎医科大学耳鼻咽喉・頭頸部外科学 教授 秋定 健

1. 研究の概要

急性喉頭蓋炎は、高度な気道狭窄を急激にきたし致命的となることもあるため迅速な対応が必要とされる疾患です。しかし気道確保を行う適応や時期についてはいまだ基準がない状態です。そこで今回2012年1月1日から2021年12月31日までに当科で経験した急性喉頭蓋炎について後ろ向きに検討を行います。今回の調査結果をもとに当院における急性喉頭蓋炎の治療を迅速に行い患者さまの利益になるようにしたいと思います。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2012年1月1日～2021年12月31日の間に川崎医科大学総合医療センター 耳鼻咽喉・頭頸部外科において急性喉頭蓋炎の治療を受けられた方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2025年3月31日

3) 研究方法

上記の研究対象期間に当院において急性喉頭蓋炎の治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに下記情報のデータを選び、気道確保症例に関する分析を行います。

4) 使用する情報の種類

情報：年齢、性別、喫煙歴、発症季節、症状発現から受診までの期間、喉頭内視鏡所見、等

6) 情報の保存及び二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学総合医療センター 耳鼻咽喉・頭頸部外科学内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2023年12月31日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学総合医療センター 耳鼻咽喉・頭頸部外科

氏名：宇野 雅子

電話：086-225-2111 内線 85322（平日：8時30分～17時00分）

ファックス：086-232-8343

E-mail：unomako@med.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

この研究は、学内研究費を用いて行われる予定です。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。